

第36回京都府高等学校総合文化祭
放送部門 実施要項

- 1 開催日時 令和元年10月27日(日)
9時40分(受付開始9時10分)～17時30分(開催時間は変更の可能性があります)
- 2 会場 京都先端科学大学(旧:京都学園大学)
〒615-8577 京都市右京区山ノ内五反田町18
(地下鉄「太秦天神川駅」・嵐電「嵐電天神川駅」下車東側)
※自家用車での御来場は御遠慮ください。
- 3 参加資格
 - (1) 参加資格は、京都府高等学校文化連盟加盟校に在学する1・2年生の生徒およびグループ(団体)とします。
 - (2) 発表として、「アナウンス小部門」(2年生対象・全国総文予選)、「アナウンス小部門新人戦」(1年生対象・近畿総文予選)、「朗読小部門」(2年生対象・全国総文予選)、「朗読小部門新人戦」(1年生対象・近畿総文予選)、「ビデオメッセージ(以下VM)小部門」、「オーディオピクチャー(以下AP)小部門」を設けます。「アナウンス小部門」「朗読小部門」(新人戦も含む)の両部門に同一生徒がエントリーすることはできません。「VM小部門」「AP小部門」の本数は各校それぞれ1作品までとします。
 - (3) 参加生徒の氏名及び画像等個人情報をプログラム、記録集及びホームページ等に掲載し公開することがあるので、提出書類作成にあたって本人の了解を得てください。
- 4 参加申込

参加申し込みは様式1を、電子データと書面で提出して頂きます。参加校は放送専門部ホームページ(<http://kyoto-hsb.com>)からエクセルの入力用書式(様式1)をダウンロードしていただいた上で、入力データを9月2日(月)～9月13日(金)の間(必着)に部門事務局参加受付(不達防止のため rsone@kyoto-be.ne.jp と rsone@f3.dion.ne.jp の両方にお送りください)宛に電子メールに添付する形でお送りください。受付後2日以内に、送信元に確認のメールを送ります。電子メールが利用できる環境にない場合は、SDカードなどの記録メディアに入力していただき部門事務局まで郵送にて提出してください。プログラムや名札等は様式1のデータをもとに作成しますので、外字は使用されないようお願い致します。外字を使用する氏名については、それに近い漢字で代替して下さい。

同時に、様式1を印字して校印を押印したものを9月2日(月)～9月17日(火)の間(必着)に部門事務局(嵯峨野高校)宛に郵送にて提出してください。
- 5 作品規定〔規定に違反があった場合、失格の対象となります。〕
 - (1) 「アナウンス小部門」(新人戦も含む)
 - (ア) 郷土(他府県から見た地元京都)の話題(校内の域にとどまっている話題は不可とします)を全国や近畿の高校生に伝える内容の原稿を作り、発表してください。原稿は、自らが新たに作成したものとします。本人が作成した原稿であっても過去に京都府高等学校総合文化祭(以下「京総文」)で使用した原稿を流用することは不可とします。
 - (イ) 発表は、番号、学校名、氏名に続いて原稿を読むものとします。学校名については、正式名称・略称のどちらでも可とします。

要項4枚中の2

- (ウ) 発表時間は、学校名、氏名を含めて1分10秒～1分30秒とします。
- (エ) 画像、BGM等を使用することはできません。ただし、全国高等学校総合文化祭(以下「全国総文」)では5枚以内のJPEG画像(1366×768ピクセル)の使用が可能です。
- (オ) 全国総文・近畿総文ではタイトルが必要になりますので、原稿提出時にはタイトルも記載してください。ただし、タイトルは読まないでください。全国総文・近畿総文でもタイトルはプログラムに掲載されるだけで、タイトルを読むことはありません。
- (2) 「朗読小部門」(新人戦も含む)
- (ア) 京都府内を舞台とした作品の中から原文のままを一部選んで原稿としてください。京都府出身の作家による、京都府が舞台ではない作品は不可とします。なお京都府が舞台であれば作者が京都府にゆかりがあるかは不問とします。
- (イ) 発表は、番号、学校名、氏名、作者名、作品名に続いて原稿を読むものとします。学校名については、正式名称・略称のどちらでも可とします。
- (ウ) 作品名及び本文の読み方は以下に準じてください。
- ・サブタイトルや巻数については省略しても可とします。
 - ・短編小説は、収録本のタイトルではなく、小説のタイトルを読むものとします。
 - ・文章の途中での読み始め、読み終わりは不可とします。また本文中の()内も読むものとします。ただし、読み仮名・訳者注は除きます。
- (エ) 発表時間は、学校名、氏名、作者名、作品名を含めて1分30秒～2分00秒とします。
- (オ) 画像、BGM等を使用することはできません。ただし、全国総文では効果音・BGMの使用が可能です。
- (カ) 過去の京総文で本人が朗読した作品と一部でも重複した箇所を読むことは不可とします。
- (3) 「VM小部門」
- 郷土(他府県から見た地元京都)に関する話題(校内の域にとどまっている話題は不可とします)を取り上げた、全国の高校生に伝える内容の5分以内の未発表の動画作品とします。ドキュメンタリー形式・ドラマ形式など、内容・手法は問いません。ドラマ形式の場合は、出演者は自校生徒に限るものとします。
- (4) 「A P小部門」
- (ア) 郷土(他府県から見た地元京都)に関する話題(校内の域にとどまっている話題は不可とします)を取り上げた全国の高校生に伝える内容の5分以内の未発表の作品とします。ドキュメンタリー形式・ドラマ形式など、内容・手法は問いません。ドラマ形式の場合は、出演者は自校生徒に限るものとします。
- (イ) 静止画25画像以内(暗転画像は数に含みません)を使用した5分以内の動画作品として提出してください。なお、静止画のズームアップ・ズームダウン、静止画切り替え時のビデオトランジション等のエフェクトは使用しないでください。

6 表彰等

- (1) 上位入賞者(校)は、下記の大会の推薦候補となります。
- (ア) 令和2年度全国総文高知大会推薦対象(6名・3作品・1校)
- ・アナウンス小部門上位3名
 - ・朗読小部門上位3名
 - ・VM小部門上位2作品
 - ・A P小部門上位1作品
- (イ) 令和2年度近畿総文奈良大会推薦対象(6名・3作品)
- ・アナウンス小部門新人戦上位3名
 - ・朗読小部門新人戦上位3名
 - ・VM小部門3作品(第3位～5位作品)

要項4枚中の3

- (ウ) 上位大会に出場される際は、番組・アナウンスについては最低限度の手直しを可としますが、朗読については同じ原稿を読んで頂くものとします。
- (2) アナウンス小部門上位者および朗読小部門上位者は、下記の司会等をご担当いただく予定です。京総文終了後、個別に依頼をいたします。
- (ア) 令和元年12月14日(土)に実施される、全国高校生茶道フェスティバルの司会進行
- (イ) 令和元年12月15日(日)に実施される、京総文優秀校発表会・全国高校生伝統文化フェスティバルの司会進行
- (ウ) 令和元年12月21日(土)・22日(日)(予定)に実施される全国高等学校駅伝競走大会の開会式および閉会式の司会進行
- (3) 連盟賞
- 令和元年12月15日(日)の京総文優秀校発表会で表彰される連盟賞の受賞対象は以下の4部門の最優秀受賞者(校)とします。
- ・アナウンス小部門 ・朗読小部門 ・VM小部門 ・AP小部門

7 運営補助

参加校の先生方には当日の運営の補助をお願いいたします。参加申込み後、業務内容について文面でお知らせいたします。業務の詳細は参加当日の朝に御説明いたします。

8 提出規格および提出締切

(1) VM・AP・映像

(ア) 完成作品

テストパターン無しの動画ファイルのデータを、転送サイト(京都府のファイル交換サーバを使用します。詳細はエントリー校に後日お知らせします。)にて御提出ください。ネット環境等の関係でファイル交換サーバが使用できない場合は、SDカード等にデータとして記録して御提出下さい(全国総文・近畿総文提出時はテストパターンが必要となります)。動画ファイルはMP4(H.264コーデック、アスペクト比16:9)で御提出頂き、ファイル名は 部門名(VM、AP)+学校名+「タイトル」として下さい。例：嵐山高校のVM作品→VM嵐山「京の景観」.MP4

複数小部門にエントリーされる場合は、1枚のディスクに全ての小部門の作品を入れてください。〆切は、ファイル転送・郵送・持参とも10月15日(火)19時とします。

(イ) 台本

用紙サイズはA4とし、4部御送付ください。様式は自由です。〆切は、メール送信・ファイル転送・郵送・持参とも10月15日(火)19時とします。

(ウ) 様式2

放送専門部ホームページよりダウンロードして必要事項を入力頂き、10月15日(火)19時までにメール送信または記録メディアを送付ください。印刷物の提出は不要です。

(エ) 著作権処理

著作権など権利者の許諾が必要な場合は、出場校で所定の手続きをしてください。関係書類の提出は不要ですが、全国総文・近畿総文で提出を求められる場合がありますので、書類は必ず保管しておいてください。

要項4枚中の4

(2) アナウンス小部門(新人戦を含む)・朗読小部門(新人戦を含む)

原稿は電子データによる提出とします。表計算ソフト(エクセル等)の1行に1人分の原稿を入力し、朗読、アナウンスをまとめて1校1ファイルで作成してください。発表順の決定方法は後日お知らせ致します。発表順決定後に下記入力例のように、A列には発表順(半角でRZ002、AK013など。Zは全国総文予選(2年生)、Kは近畿総文予選(新人戦・1年生)を意味します)、B列には学校名(発表時の学校名の読み方と異なっても結構ですので、全員同じ学校名で御入力ください。)、C列に生徒名、D列には、朗読部門は作者名、アナウンス小部門はタイトルを(ただし、発表時にはタイトルは読まないでください。)、E列には朗読小部門のみ作品名を発表時に読むとおりに記入してください。F列には原稿を入力して頂きますが、原稿を貼り付ける際は、F2キーを押して編集モードにしてから貼付けるか、数式バーに貼り付けをして、1セルに原稿が入りきるようにしてください(普通にセルに貼り付けると改行毎に別セルに貼り付けられてしまいます)。提出前に必ず原稿が全文貼り付けられているかご確認ください。提出頂いた原稿と読みが異なる場合、失格の対象となる場合があります。

原稿のファイル名を「〇〇高校原稿」として、**10月15日(火)19時**までにメール送信または記録メディアを送付ください。

〔原稿入力例〕

	A	B	C	D	E	F	G
1	RZ002	京都高等学校	赤城三平	芥川龍之介	羅生門	ある日の暮方の事である。一人の下人が、羅生門の下で雨やみを待っていた。	
2	AK013	京都高等学校	桃江あきら	伏見・酒蔵の悩み		広い門の下には、この奥のほかに誰もいない。伏見区に住む青梅大二郎さんは、江戸時代から続く酒蔵の8代目です。しかし青梅さん夫婦にはお子さんがおられず、後を継ぐ人が決まっていな	

〔各小部門提出物締切一覧〕

部門	提出物	提出方法	締切
朗読・アナウンス	原稿の電子データ	メール送信またはメディア送付	10月15日(火)19時 (祝日の関係で全て同じ日切日となります)
VM AP	完成作品	サーバにアップロードの場合	
		メディア送付・持参の場合	
	様式2の電子データ	メール送信またはメディア送付	
	台本	印刷物(4部)送付の場合	
		電子データメール添付の場合	

9 部門事務局

〒616-8226 京都市右京区常盤段ノ上町15 京都府立嵯峨野高等学校内 曾根 隆一

TEL 075-871-0723 FAX 075-871-0724 携帯 080-5323-4199

E-mail : rsone@kyoto-be.ne.jp および rsone@f3.dion.ne.jp

放送専門部HP <http://kyoto-hsb.com>